

早いもので、私達がオーストラリアに来て、もう1年半以上がたちました。私達家族、そして「クロ」も元気に暮らしております。渡航の際、クロを連れて行くかどうかとても悩みましたが、今こうして幸せに暮らしています。

こちらに着いてから1ヶ月は、検疫で管理されましたが、設備は衛生的で、スタッフも訓練が行き届き、安心して任せることが出来ました。

昼は広い庭で遊び、夜はランドリールームで寝ています。相変わらず臆病ですが、私達家族にとってなくてはならない存在です。肉体的に疲れた時、精神的に参った時、家族それぞれがまずクロの所に行って、癒してもらっています。クロにとっても大変な思いをしたけれど、今こうして私達と一緒にいることが一番の幸せなんだと実感しています。



荻島 クロ



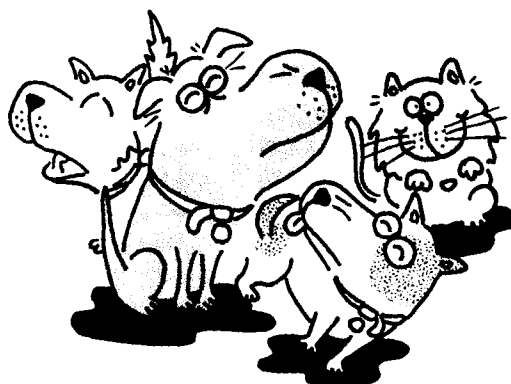
柴田 ガク

その後お変わりありませんか。私もガクもお陰さまで元気で居ります。人事ながらご安心下さい。

先日、伏見の方の病院にガクを連れて行き、ご指示の薬を頂きました。体重を計りましたが、少し大きくなったようです。その時に写した写真を同封します。今度そちらの方に、ガクを連れて遊びに行こうと思って居ます。ではくれぐれもお体をお大事にお過ごし下さい。

HAPPY HOMES

アークで保護され、里親制度を通じて新しい家庭に迎えられた動物は、過去9年間で1,000匹以上になります。お便りをいただいた里親の方からは、どれも幸せいっぱい動物とその家族の方々の写真が添えられています。そのほんの一部をみなさんにご紹介致します。



中野 ビビ & ジジ

ビビとギギが我が家に来てから8ヶ月。すぐに新しい環境にも慣れてくれて、病気もせずに家族と楽しい毎日を送っています。仕事から家族が帰るとすぐに飛んで来て、スリスリのおねだりが始まります。ギギは食欲旺盛の男の子で、優しいビビからごはんを分けてもらって、食後にはお互いに毛繕い。テレビを見ているとふたりが膝に乗ってきて、ゆっくりと撫でてあげると、グルグルといいながら眠ります。娘も彼らから大切なことを学んでいるようです。彼らと共に生活する喜びを与えていただいて、本当にありがとうございました。